

◆石狩浜の絶滅危惧種◆



(国VU/道R)

分布の北限。石狩川河口右岸ではまだ発見されていない。
はまなすの丘は北限の大群生地。



(国CR+EN)

約100年ぶり発見の海浜性キノコ。ハマニンニク・コウボウムギ帯に生育。石狩浜でも侵食等で生育地が失われる可能性がある。



(道R)



(国VU)



(国NT)



(国VU/道En)



(国VU/道Vu)

中正憲基侑氏撮影

砂丘草原の小鳥やノネズミを捕食。一年中見られる。



(道R)

砂丘草原でおもにノネズミを捕食。冬鳥。



(国VU/道R)

道川富美子氏撮影

石狩川下流域のヨシ原で繁殖。ネズミや小鳥などを捕食。夏鳥。



(国EN/道En)

中正憲基侑氏撮影

沿岸の魚類や鳥類を捕食。冬鳥。



エゾアカヤマアリ

東正剛氏提供



海浜植物群落の中に営巢

東正剛氏提供

ふつうアリは巣ごとに別々の家族で他の巣のアリと敵対するが、石狩浜のエゾアカヤマアリは石狩浜一帯の巣がすべて一つの家族。この現象は、石狩浜特有の環境条件によってつくられたと考えられている。



イソコモリグモ

(国Vu)

岩本恵美子氏撮影

ハマニンニク、コウボウムギなどの海浜植物がまばらに生える砂浜海岸特有のクモ。砂に穴をほって潜み、付近を歩く小さな虫などを捕食する。改変、侵食等により各地の海岸で減少している。